



今年は5年目の開催ということで、たくさんの方に足を運んでいただいているのではないかと思います。私自身も10年前に敦賀でAEDの講習を受けたことがあります。今日はとても新鮮に感じ、学び直しができたことは有意義な時間でした。

昨今は迷走台風、ゲリラ豪雨など昔はなかった恐ろしい気候変動が多数起こっています。これらはすべて人間の欲のかたまりなのではないかと思うこともございます。地球からの警鐘ととらえ、「備えあれば憂いなし」の言葉通り、防災への意識を後世へと伝えていく所存です。

福井県労働者福祉協議会

会長 **矢野義和** Yano Yoshikazu

本会の開催にあたり、各団体から参加ご協力をいただき、深く御礼申し上げます。

近年は毎年のように地震、台風、大雨などの自然災害が起こっており、福井もいつ何があってもおかしくありません。もしもに備え、災害時に必要な準備、補償をしておくことは命、暮らしを守るためにとても大切なことです。

今後も継続的に防災・減災フェアを開催し、有意義な情報発信をしていきたいと考えております。

こくみん共済 coop 福井推進本部

本部長 **藤澤幹雄** Fujisawa Mikio



家族でたのしくまなぶが

防災・減災 フェア 2023

EVENT
REPORT
UNION PLAZA FUKUI
2023.10.14



EVENT REPORT

10月14日(土) 10:00-14:30

ユニオンプラザ福井にて開催 (福井市問屋町 1-35)

主催: 福井県労協・こくみん共済coop福井推進本部(福井労済生協)

共催: 連合福井・北陸労働金庫・福井県民生活協同組合・(一財)福井県労働者信用基金協会・(一社)福井県労働福祉会館
(公財)福井県労働者福祉基金協会・福井県勤労者互助会・福井県生活協同組合連合会・福井県防災士会

後援: 福井県・福井県教育委員会・福井市・福井新聞社・NHK福井放送局・FBC・福井テレビ・FM福井





LECTURE

開催時間 11:00~12:00

お話を聞こう

講演

気象予報士・防災士・健康気象アドバイザー
塩見泰子さん

「身の安全を守る気象情報 ~記憶に残る情報発信とは~」

気象予報士の仕事や
衣装の裏側、温暖化などに
ついて話していただきました

【取材者レポート！】こんなことを学びました

気象予報士はどんなお仕事？

気象庁から提供される天気図を解析して予報を立て、それをわかりやすく伝える仕事です。また、企業へ【今年の冬はどのくらい寒い？】などの情報提供を行うこともあります。テレビでよく見かける気象キャスター（主に棒をもって天気図の解説をしている人）は、資格をもち、予報を作るだけでなく“わかりやすく”伝えることが求められます。

衣装・ヘアメイクでも天気を意識

衣装はお天気ニュースを伝えるその日の天気にぴったりのものを選びます。また、風の強い日には髪を結ぶ、暑い日にはスッキリめに、などをとって天気が伝わりやすいようにしているそうです。



気象予報士になるには

気象予報士は合格率が数%の難関国家資格ですが、何度でも受験可能。年齢、性別、学歴、経験は問われないので、誰でも何歳からでも挑戦することができます。ふとした疑問から“お天気の自由研究”をして、調べて分かったことを分かりやすく伝えるにはどうするとよいか、伝え方まで考えてみると素敵な気象予報士になれるかも！

プロのお天気ニュースを聞き比べ！

「大雨」に警戒する場合と「暑さ」に注意する場合、講演会では両方の天気予報を塩見さんにその場で実演していただき聞き比べを行いました。同じ天気図なのに言葉の選び方で気を付けるポイントがちがってくることをしっかり体感することができました。また、短い時間内で可能なかぎり分かりやすく伝えられるよう天気図の画面なども毎日工夫して作られていることを知りました。

地球温暖化って本当ですか？

塩見さんの観測記録の分析によると、気温が上昇しているのは事実です。1897年から2023年の福井のデータでも、気温が上がり、とくに朝・晩・冬など、下がるべき時に下がらなくなってきていることがわかりました。気温が高いと大雨も多くなるので、私たちは日々の猛暑と大雨から身を守りながら、将来の地球のことも考えた生活を送れるといいということです。



温度よりも湿度が重要！

1:7:2

気温 湿度 輻射熱

同じ気温でも、湿度が高いほうが汗が蒸発しにくくなるため、体温調節がきかず熱中症になりやすくなります。

知っておくと便利！
気象庁のホームページ



- ・地域時系列予報
- ・週間天気予報
(信頼度がA~Cでわかる)
- ・キキクル
- ・早期注意情報

など暮らす地域の情報が細かく分かります。心配なことがあってもなくても見てみると面白い！

MANABU

おぼえておこう

非常食ローリングストック

家族全員分の食料や水は思っているより多いので普段から置き場所を確保して食べながら回していこう。



栄養豊富なクッキーなども長期保存できるものがあるので準備しておくGOOD!

おいしいよ！



ジュースなら食欲がないときでも手軽に栄養補給！



各地のイベントにハーツキッチンがお邪魔します！コープ商品のご紹介や販売を行っているの、見かけたらぜひお立ち寄りください。

防災グッズ紹介



電池やラップ、米や氷砂糖など必ず準備しておきたい防災グッズを紹介。

触って確認！できればアルミの寝袋は静音タイプを選ぼう。



夏と快適かも？



いつもと違う布団だと眠れないかもしれないから、たまにこれで寝て慣れておくといいかも？

YOU are HERO

防災ヒーロー入団試験

A～Eの5つのテストをクリアして「入団証」をもらおう！

ヒーローになろう

A

作って遊んで覚えよう

防災スリッパ作り

履いたらポコポコした道もちょっと痛くなくなった！新聞紙1枚からいろんな大きさのスリッパができるね。帰ったら家族の分も作ってみようかな。



ストローハウス



グラグラしないように、ストローをつなぐ場所がむずかしかったけど、できて面白かった！

ビニールカップ作り

大きなビニール袋をチョキチョキ切っていくと...



紙コップ・紙皿作り



本当にお茶が飲めたよ！

意外と頑丈だなと思いました。こどもと折り紙感覚で塞しくできるところがいいですね！

ジャジャーン！ちょっと暑いけどなんかいい。雨の日も外で遊べそう！



いもうとは足までガードできましたよ！

B

火事を擬似体験 スモーキー迷路

姿勢は低く... 火事が起きたときはこれを思い出して！



出てこれたー！ケムリがいっぱいだったけど、おもしろかったー！



くっつきむしになっちゃって...笑 まだちょっと怖かったかな？

コンサートなどでも使われる特殊な液体(無害)を水蒸気にして煙に見立て、段ボールでできた迷路に煙を充滿しています。

C

使い方を覚えよう 水消火器射的

(いい表情してる！)



消火器にもさまざまなタイプがあるので、いざという時のため使い方の確認を忘れずに。また、何度も使えるものと使い切り、どちらのタイプか確認しておこう。

そー！



子どもの身長半分くらいもある消火器だけど、使い方を教えてもらえたので、簡単に試してみることができました！

D

共助の精神を養う 避難所ジェスチャーゲーム

よく見て！私は○○がほしいよ！



どのおことを言ってるのかな～？

遠く離れていることも想定して身振り手振りは大きく！

E

ママ知識を知ろう 防災クイズ

何日分くらいの備えをしておくとういでしょう？



3日分...？

正解は... 1週間分以上！

災害時に必要な荷物や、避難時の心得など、クイズを通して教えていただきました。

A～Eすべてクリアすると...

あなたを防災ヒーローに認定します！



やったね！

受付



県民生協



水消火器射的



TRY! やってみよう!

サバイバル飯炊き



おいしく炊けたよ



新聞紙スリッパ



紙コップ・紙皿作り



福井県防災士会



防災VR体験



酔いそうなくらいリアルで怖いですが…

ビニールカップ作り



ストローハウス



アンケート



AED体験

救急救命士 梅田さんによる「人の命を守る」講習会



人工呼吸より胸骨圧迫のほうが大事!

まず大声で呼びかけ、肩を強く叩き、反応がなければ救急車とAEDの準備を。

Question!

来場者の皆さんへ質問! 災害への備えは万全?

準備しているモノ

- ・懐中電灯・防災袋・ガスコンロ
- ・ボンベ・お米・非常食・お水・カップ麺・エコキュート・救急セット・めがね・くつ・アルミの軽い布・簡易トイレ etc...



主人が揃えてくれたけど賞味期限切れが…! 入れ替えなくちゃ。



けっこうたくさん食料や水を用意したつもりだけど足りないかも…



防災グッズ一式を準備。非常食は常備。エコキュートもあるので、残り水があれば水の確保も可能。防寒対策もしたので火事以外なら生き残れるはず!



カロリーメイトなどの非常食と3日間の衣服は車の中に常備。



頭につけるタイプの懐中電灯を家族分用意しました。



自作の新聞紙スリッパは常備!



町内で配られる防災袋があるけど、もらってそのまま。中身を確認しないと。

防災のプロ家様!?



日常と災害時の境目をなくす「フェズフリー」を家族全員で実施しています。真っ暗にして懐中電灯だけで過ごしてみたり、子どもたちだけでカセットコンロでお米を炊いたり。簡易トイレを使ってみる、車から電源を引いて使える家電を確認しておくなども。避難するタイミングと場所などを一覧表にして家に貼ってあります。

パネル展示

令和に起きた災害パネルを増設し、より身近に災害の危険を感じてもらえる展示を心がけました。

